

越谷市議会議員

ほそかわ

細川たけし

KOSHIGAYA City Council member
HOSOKAWA Takeshi
City Council report

市議会レポート

No.12
平成28年
春号



新しい
転居先です

〒343-0022

越谷市東大沢1丁目12-15

カンピジャーノ 201

TEL/FAX 048 (971) 3890

公式HP <http://hosokawa-takeshi.com>

Eメール info@hosokawa-takeshi.com

◆◆ご挨拶◆◆

春暖の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は大変お世話になっております。

昨年の越谷市議会選挙から早いもので1年が経過しました。この間、多くの方々にご支援頂き、議員活動を続けてまいりました(議会活動については裏面をご覧ください)。心より感謝申し上げます。

さて、東日本大震災から5年が過ぎました。今年2月に会派で大船渡市や南三陸町を視察しました。大船渡市長からは、今までの復旧の経緯や今後のスケジュールの説明をして頂きました。また、津波の被害にあった地域では、道路整備や土盛りなど多くの場所で復旧は進んでいると実感しましたが、まだまだ課題も多く、復興にはまだ時間がかかる印象を受けました。

人の記憶や意識は時間の経過とともに薄れていきます。しかし、自然災害はいつ起こるか分かりません。東日本大震災や竜巻・大雨による自然災害、これらの教訓を忘れず、引き続き地域の安全を守るため、自助・共助・公助を柱に災害に強いまちづくりを推進していきます。



会派行政調査の様子
2月4、5日、大船渡市南三陸町にて



建設の進む防潮堤(南三陸町)

中核市移行に伴う事務移譲

平成27年4月1日中核市越谷誕生。それに伴いこれまで県が行っていましたが多くの事務を越谷市自らが担うこととなりました。その数、実に2,024項目。特に保健衛生関係は1,314項目に上ります。

中核市になり移譲された主な事務

保健衛生に関する事務

- ・保健所の設置
- ・飲食店営業等の許可

福祉に関する事務

- ・保育所の設置の認可、監督
- ・養護老人の設置の認可、監督
- ・介護の事業者の指定
- ・身体障害者手帳の交付

環境に関する事務

- ・一般廃棄物処理施設、産業廃棄物処理施設の設置の許可

消防に関する事務

- ・高度救助隊の設置

まちづくりに関する事務

- ・屋外広告物の条例による設置制限

これら事務を市が行うことでそれぞれの利便性が上がり、市民生活向上に繋がります

3月定例会での主な議案

会期 2月24日～3月17日

- * 包括外部監査契約の締結について
- * 越谷市議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について
- * 越谷市下水道条例の一部を改正する条例制定について
- * 議決事項の一部変更について(越谷第一ポンプ場改修工事委託に関する協定の締結)
- * 平成28年当初予算議案



建設常任委員会ポンプ場視察

〈議案数53件〉

市長提出議案52件(一般議案31件、補正予算議案10件、当初予算議案11件) 委員会提出議案1件

* 全ての議案については5月発行の「こしがや市議会だより」をご覧ください。

議員運営委員会行政視察

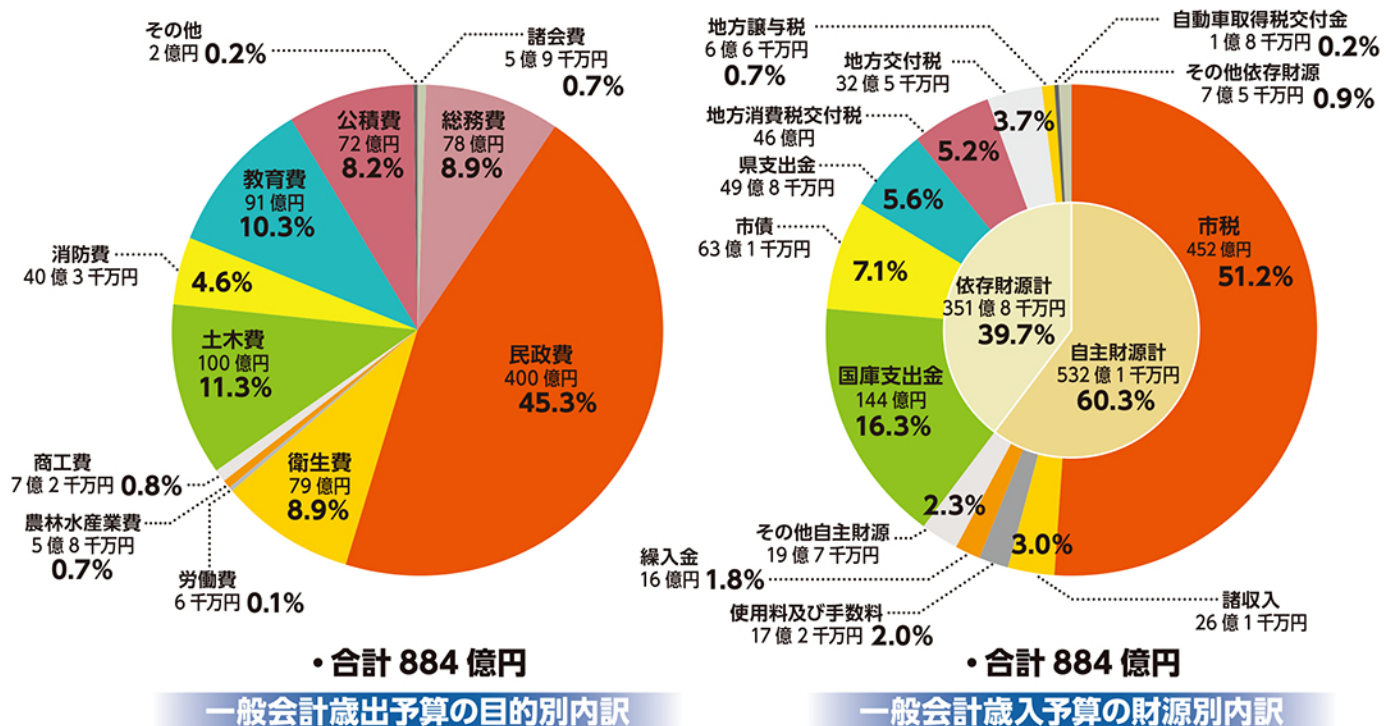
1月27、28日



熊本・鹿児島を視察。写真は傍聴される高齢者や身障者、小さな子ども連れの保護者等に配慮した設備を持つ鹿児島市議会です。

3月定例会・予算特別委員会のご報告と細川たけしの質疑

越谷市平成28年度当初予算 (端数省略)



概要

平成28年度は、個人市民税・固定資産税において増収が見込まれますが法人市民税の減収が予想されます。また、昨今の経済状況からは大幅な税収入を期待することは難しく、さらに社会保障関連経費の増加が続きますので今後も選択と集中の財政運営が必要となります。

予算規模：一般会計 884 億円 (対前年度比 1.7%減)
 特別会計 715 億 6,500 万円 (対前年度比 0.6%増)
 病院事業会計 117 億 4,400 万円 (対前年度比 0.1%減)
 総額 1,717 億 900 万円 (対前年度比 0.6%減)



(予算特別委員会にて)

予算特別委員会では、予算特別委員として以下の質疑をいたしました。

Q 中核市移行にともない義務付けられた包括外部監査報告書の意見等をどのように市政へ反映するのか？

A 包括外部監査については、平成27年度は指定管理者及びテーマ選定をし平成28年2月に包括外部監査人から監査結果の報告書をいただきました。報告書は約300ページに及び98項目の指摘事項がありました。監査結果については今後の市政に反映させていただきます。指摘内容には概ね半年後には市の考え方を示していきたいと考えます。結果の対応等は自治法上、監査委員に通知することになっています。監査委員を通じて市民への公表も致します。

Q 職員研修の内容の選定方法及び効果は。また、職員逮捕を受けてのモラル・コンプライアンス研修は？

A 研修選定にあたっては基本的には5つの研修体系を設けていて、「階層別」「専門」「特別」「派遣」「自己啓発」の各研修体系の中で推進しています。受講した職員は研修で学んだ内容、今後の業務における活用についてレポートを書きます。そこには所属長よりのメッセージも記載され受講職員に更なるフィードバック効果を期待できます。服務規程やコンプライアンスに係る研修については毎年度階層別研修として「新採用職員」「新任監督職」「新任管理職」に対し行っております。今回の事件を受け引き続き同様の取組みを実施します。更に全管理職を対象としたコンプライアンスや倫理に関する研修実施を検討します。

Q 公共交通ガイドマップの内容及び配布部数は？

A 平成27年度に7,000部を試作しました。内容は表面に「鉄道事業者、路線バス事業者、乗用タクシー事業者等の問い合わせ先」「その他公共交通の案内」「市内鉄道駅」「8駅の駅前広場における路線バスやタクシー乗り場等の案内」「バス路線の行先」「公共交通鉄道路線バスタクシーの乗り方降り方案内」を掲載。裏面には「市内バス路線図」「バス系統図」「タクシー事業者所在地」「バスまちスポット、観光スポット」等を掲載。これにより公共交通をより身近に、そしてより多くの方に乗っていただけるよう努めていきます。

Q 糖尿病性腎症重症化予防対策事業の対象者数の見込みは？

A 近年の糖尿病患者増加、特に糖尿病性腎症の悪化により透析にいたる患者の増加対策が課題となっています。本事業は糖尿病が重症化する可能性の高い未受診者や受診中断者を医療に結びつけると共に、通院患者の内、重症化リスクの高い方に対し生活指導を行い人工透析移行を防止する内容です。本市の受診勧奨対象者は約400人、生活指導対象者は1,800人で、その内の指導申し込み者は約130人と見込んでいます。

Topics

現在越谷市の待機児童数は平成25年4月35名、平成26年4月29名、平成27年4月28名と微減を続けています。越谷市における待機児童や保育所、保育士不足について。そしてそれらへの対策を質問しました。

Q 平成26年度の待機児童は29名であったと聞いているが、公立・民間の保育施設における保育士確保の状況は？

A 現在、国や県が取り組んでいる施策を有効活用することはもとより保育士や保育所などへ積極的な情報提供を行っています。更に「越谷市立幼稚園認定子ども園協会」実施の保育士募集合同説明会等の案内などを支援し、保育士確保に努めています。

埼玉県では昨年5月に保育士の人材確保推進を図るため「保育士保育所支援センター」を開設し、インターネットを活用した求人情報公開や保育士登録等、また保育士の再就職等コーディネーターによる就職マッチングを行っています。このような取組みは保育士の人材確保に有効と考えております。今後も国や県の制度も有効活用し、市の状況に即した支援策を講じ人材確保に努めていきたいと考えています。また公立保育所では保育士採用に当たって新採用の職員とともに民間等の経験者枠を設けていきます。

Q 保育士が不足している原因は？

A 理由としては保育士の絶対数が足りないことと、その処遇面の影響と考えています。国でも待機児童対策として保育士不足が懸念されており保育士を増やす方法については処遇改善のための公定価格見直し等、民間施設を中心に改善を図っているところです。また、潜在的な保育士の活用についてはコーディネーターを活用し希望に沿った内容とのマッチングを図ります。

また、本市では朝7時～夜7時まで保育所開所時間があり、全ての時間帯を現状の保育士数で担うことは困難なためコアな時間帯以外など児童が少ない時間帯では、短時間保育士の活用なども踏まえての事業運営を図っております。



越谷市議会では本会議のネット中継をおこなっております。
<http://www.koshigaya-city.stream.jfit.co.jp/>
 「越谷市議会ホームページ会議中継」

細川たけし 1年間の質疑等

皆様のご支援で市議会議員2期目初年度を無事勤めることができました。改めて心よりの感謝を申し上げます。ここに記された質疑の数々は皆様からのお声をいただき実現しました。今後も皆様からの要望やお声を市議会に反映させていきます。

〈6月定例会 一般質問〉

- ・中核市移行に伴う現状及び今後の取組について
- ・自然災害時における越谷市の対応について
- ・高齢者に対する投票環境の整備について

〈9月定例会 決算特別委員会〉

- ・平成26年4月の消費税増税分3%について越谷市の歳入の影響について
- ・新設される大沢地区センターの建設費等とスケジュールについて
- ・フィルムコミッションの平成26年度の実績について
- ・平成26年度、毎年増加する医療への対策について
- ・ふるさと納税について
- ・市役所職員の研修について
- ・自治会振興事業（主に助成金）について
- ・児童館（コスモス・ひまわり）の運営について
- ・9月補正予算でのシラコバト飼育舎設置工事について
- ・安全保障関連法案に関する討論 他

〈12月定例会 一般質問〉

- ・越谷市公共施設等総合管理計画への反応と今後の進め方について
- ・ICT教育の現状と今後の計画について
- ・駅前案内板とバス路線図の設置について
- ・リユース第2工場の杭打ちの状況について
- ・東埼玉資源環境組合歳入の原子力損害弁償金の内容について

〈3月定例会 決算特別委員会〉

- ・ふるさと納税の寄付金額と謝礼品の品数増の考えについて
- ・日銀のマイナス金利政策による市借入額と市債残高への影響について
- ・公共施設マネジメント計画策定における委託内容、業者選定について
- ・自治会加入世帯数、加入率、その支援について
- ・防災行政無線での迷い人放送の実績、今後の対応について
- ・オリンピック・パラリンピックへ向けたイベント等の考えについて
- ・前年度の生活困窮者自立支援事業の実績と評価、また任意事業の家計相談支援事業実施の考え、中間的就労に対する認識について
- ・いきいき農園の利用状況、拡充の考えについて
- ・病後児保育の利用状況と周知方法について
- ・公立、民間保育施設での保育士確保、また保育士不足について
- ・児童館コスモス、ヒマワリの利用者推移、今後の取組みについて
- ・生活保護の世帯累計と経済自立した世帯件数、今後の見通しについて
- ・夜間急患診療所の利用状況等について
- ・旧小児夜間急患診療所の活用と現在の維持費について
- ・市内産業廃棄物処理業者数と食品廃棄物転売事件への対応について
- ・市民農園の利用状況、申し込み倍率、その拡張の考えについて
- ・物産展示場への評価分析、新展示場運営の方向性やPRについて
- ・公共交通ガイドマップの内容と配布部数について
- ・市営住宅の使用応募状況、子育て支援住宅の周知への考え等について
- ・住まい情報館の利用状況と今後の見込みについて
- ・AED設置場所数と講習会受講人数、より身近な場所へ設置について
- ・「大野間町旧中村家住宅」「旧東方村中村家住宅」の利用状況と郷土資料館設置について
- ・糖尿病性腎症重症化予防対策事業の対象数者と医療費削減効果について
- ・国保会計の一般会計繰入金を増額理由について



大沢地区での催しにも参加しました

2月21日
栄進中学校で行なわれた大沢地区防災訓練では、AEDを含む心臓蘇生術を学びました。

3月13日
自治会主催のクリーン作戦にて、自治会のみなさんと歩道などの清掃をいたしました。



細川 威 (ほそかわ たけし) 38歳

役職：建設常任委員会 副委員長
議会運営委員会委員
東埼玉資源環境組合議員
議会報専門委員

昭和52年7月生まれ

弥栄小学校、北陽中学校、獨協埼玉高校、東海大学工学部、北陸先端科学技術大学院大学 卒業
細川律夫事務所を勤務を経て、平成19年越谷市議会議員初当選。平成23年県議会議員選挙惜敗。運送会社に勤務しながら政治活動を行う。平成27年越谷市議会議員選挙2度目の当選。住まいを東大沢に移す。

細川たけし市議会レポート No.12
平成28年春号
発行 平成28年4月
発行人 細川たけし
制作発行 細川たけし事務所